

Welcome to ISE-SHIMA Summit

伊勢志摩サミット 歓迎フラッグ・のぼり旗を設置



平成28年3月23日

設置の趣旨

平成28年5月26日^木・27日^金 開催 伊勢志摩サミット

商店街での歓迎ムードの
創出

商業の活性化

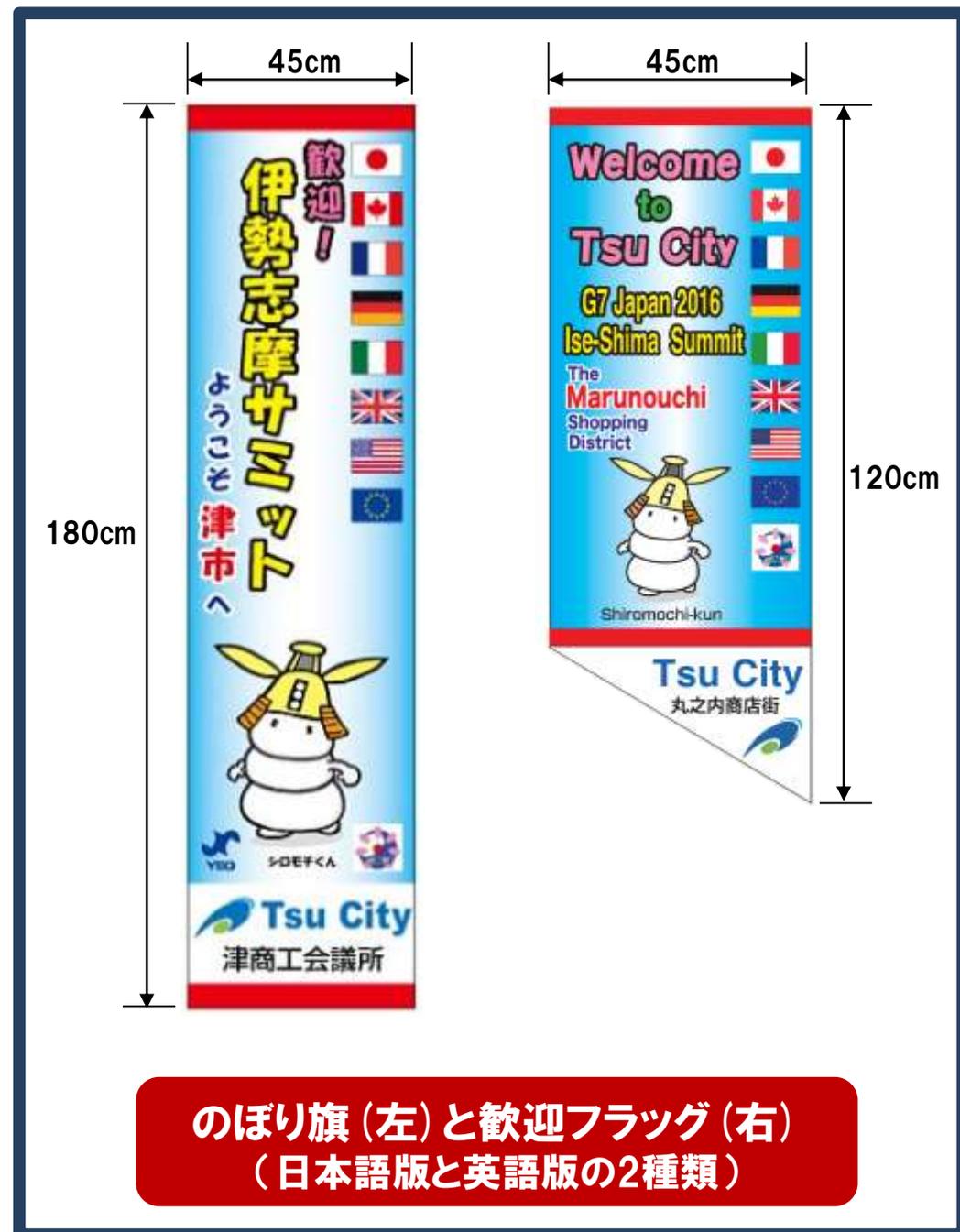
高速船を利用した
旅行客等の増加

ようこそ津市へ
「おもてなし」

歓迎フラッグ・のぼり旗を設置

設置の概要

	商店街・津駅前・ 地域のお店の店頭	津なぎさまち⇄ 臨港道路⇄ フェニックス通り
設置 本数	1,319本 ①フラッグ 119枚 ②のぼり旗1,200枚	320本 ①フラッグ 20枚 ②のぼり旗300枚
設置 期間	3月23日(水)～ 6月中旬	5月上旬～ 5月下旬
事業費	5,145千円 【平成27年度予算】 商業振興事業補助金	1,114千円 【平成28年度予算】 歓迎フラッグ・のぼり旗 制作設置業務委託



のぼり旗(左)と歓迎フラッグ(右)
(日本語版と英語版の2種類)

商店街・津駅前・地域のお店への設置

商店街組織・市内経済団体へ
歓迎フラッグやのぼり旗等の設置に対して補助

市内の商業者の歓迎ムードを盛り上げ、
商店街への誘客・商業の活性化

商店街組織・市内経済団体 計11団体

商店街組織

大門大通り商店街振興組合、立町商店街振興組合、
津新町通り商店街振興組合、丸之内商店街振興組合、
一身田商工振興会、津駅前ストリート倶楽部、久居商店連盟

市内経済団体

津市商業団体連合会、津商工会議所、津北商工会、
津市商工会



大門大通り商店街



津駅東口

「津なぎさまち」周辺への設置

国内外から中部国際空港(セントレア)を經由し、
高速船で津市を訪れる関係者・旅行者等の方々を歓迎

津なぎさまち ⇒ **歓迎フラッグ**

臨港道路 ⇔ フェニックス通り ⇒ **歓迎のぼり旗**

設置イメージ



主要先進国大使館へのダイレクトメールの発信

内容

- ①海上アクセス航路
(高速船)の利便性
- ②津市内の観光地の魅力

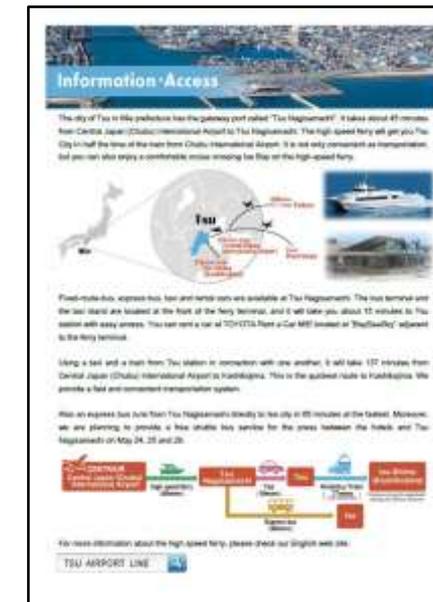
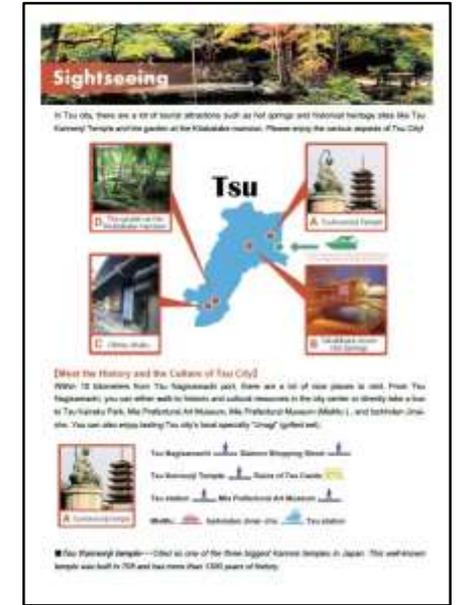
発信先

主要先進国の大使館

カナダ、フランス、ドイツ、
イタリア、イギリス、アメリカ

発送予定
時期

平成28年4月頃



津市大門大通り商店街

Tax-free Shop 街の駅だいまん免税店

ガイドマップを作成



平成28年3月23日

津市における宿泊者数の状況①

延べ宿泊者数(全体)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
国	439,500,000	465,893,370	473,501,950	505,453,000
三重県	8,334,700	9,686,440	8,794,360	9,813,770
津市	682,670	863,809	1,058,229	集計中(6月確定予定)

全国的に
宿泊者数が
年々増加

外国人延べ宿泊者数

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年(速報)
国	33,495,730	33,495,730	44,824,600	66,372,660
三重県	130,890	130,890	178,516	383,280
津市	39,605	39,605	62,147	集計中(6月確定予定)

全国的な動きに
併せ、外国人
宿泊者数も
増加傾向に

外国人延べ宿泊者数(従業員10人以上の施設)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
国	23,822,510	31,242,220	42,072,820	61,176,500
三重県	86,490	113,950	150,580	282,020
津市	24,460	39,296	54,694	集計中(6月確定予定)

県内宿泊者の
内、3分の1が
市内で宿泊

Tax-free Shop「街の駅だいまん免税店」開設の経緯

大門周辺で夕刻から夜間にかけて、主に中国系の外国人観光客を見かけることが多くなったことから、津市大門大通り商店街振興組合が、外国人の誘客を目指し、免税店(Tax-free Shop)の開設を計画！

津市大門大通り商店街 街の駅 だいまんを活用し、Tax-free Shop「街の駅だいまん免税店」が3月1日にオープン！

特徴①

夜間のみ営業
(18時～21時)

特徴②

中国人通訳の常駐
(1名)

Tax-free Shop 「街の駅だいまん免税店」での出店者・販売商品

主な販売商品

出店者(9店舗)

メガネ・サングラス

メガネの服部

陶器

シモオカ陶苑

置時計、目覚まし時計、
キッチンタイマー

甲子堂時計店

ネックレス、ブレスレット

シスキン

化粧品類、食器、小物類

グレイスキタムラ

バッグ、キーホルダー、雑貨

あのつ画廊

ハサミ

村田金物店

トランプ、おもちゃ

21's BALLOON

クッション、ぬいぐるみ

わけあり工房



ガイドマップの発行

発行部数

3,000部

配布場所

- ガイドブック掲載のホテル13カ所
- 免税品を出品する9店舗
- 津なぎさまち、津市観光協会、三重県観光連盟

内容

- 大門大通り商店街【出店店舗の紹介含む】ガイドマップ
- 駅・津なぎさまち周辺の宿泊施設マップ
- 津市への広域アクセスマップ

事業費

200万円

平成27年度 県商店街等活性化支援事業費補助金	100万円
平成27年度 市商業振興事業補助金	40万円
自己資金(津市大門大通り商店街振興組合)	60万円

Tax-free Shop 街の駅だいまん免税店の開設費用を含む総額

Tax-free Shop「街の駅だいまん免税店」の概要

店舗名	Tax-free Shop 街の駅だいまん免税店
場所	津市大門大通り商店街 街の駅だいまん内
経営者	津市大門大通り商店街振興組合
営業開始日	平成28年3月1日(火)
営業時間等	18時～21時 水曜定休
出店者	津市大門大通り商店街内の 9店舗
販売商品	宝石、貴金属、雑貨、陶器、 メガネ、おもちゃなど



Tax-free Shop 街の駅だいまん免税店
位置図(大門大通り商店街内)

平成28年4月1日

津市防災物流施設・津市雲出地区 防災コミュニティセンターを供用開始



平成28年3月23日

施設概要・位置図

所在地

津市雲出伊倉津町792番地1

敷地面積

3,125.52m²

建築面積

841.68m²

延床面積

1,815.36m²

事業費

5億7,941万円

内訳

用地費	4,052万円
造成費	4,893万円
建築費	4億4,776万円
その他	4,220万円

財源

社会資本整備総合交付金	1億2,901万円
合併特例事業債	3億7,410万円
みえ森と緑の県民税市町交付金	362万円



整備の経緯①

平成14・16年度 避難施設建設に係る地元要望

平成17年2月 施政方針

贄崎地区とともに伊倉津地区における施設整備に向けた方針を示す

避難所となりうる施設の検討等

平成22年度 津市都市マスタープランに位置付け

津市雲出伊倉津地区に伊倉津地区公共ふ頭・
伊勢湾ヘリポートの機能を活用した防災機能の確保

生活物資の
緊急輸送・備蓄場所

緊急時の被災者
の救護等

避難所等機能

整備の経緯②

平成23年度 津市防災物流施設基本構想の策定

東日本大震災の教訓を踏まえ、平成28年度の供用開始に向け
津市防災物流施設の整備推進

平成24年度～ 整備事業の推進

平成24年度	基準点測量・用地測量・境界確定
平成25年度	地質調査・建築設計及び造成設計
平成26年度	用地買収・造成工事(～平成27年度)・舗装工事
平成27年度	建築工事 条例および規則の制定

平成28年4月1日 供用開始

施設の機能

災害時における機能

！ 生活物資の緊急輸送・備蓄場所機能

市外・県外から届いた救援物資の集積・荷捌き→市内各被災地域へ配送

！ 緊急時の被災者の救護等機能

被災者救護等対策室の設置 空路等を利用した孤立地域などからの被災者救護の拠点

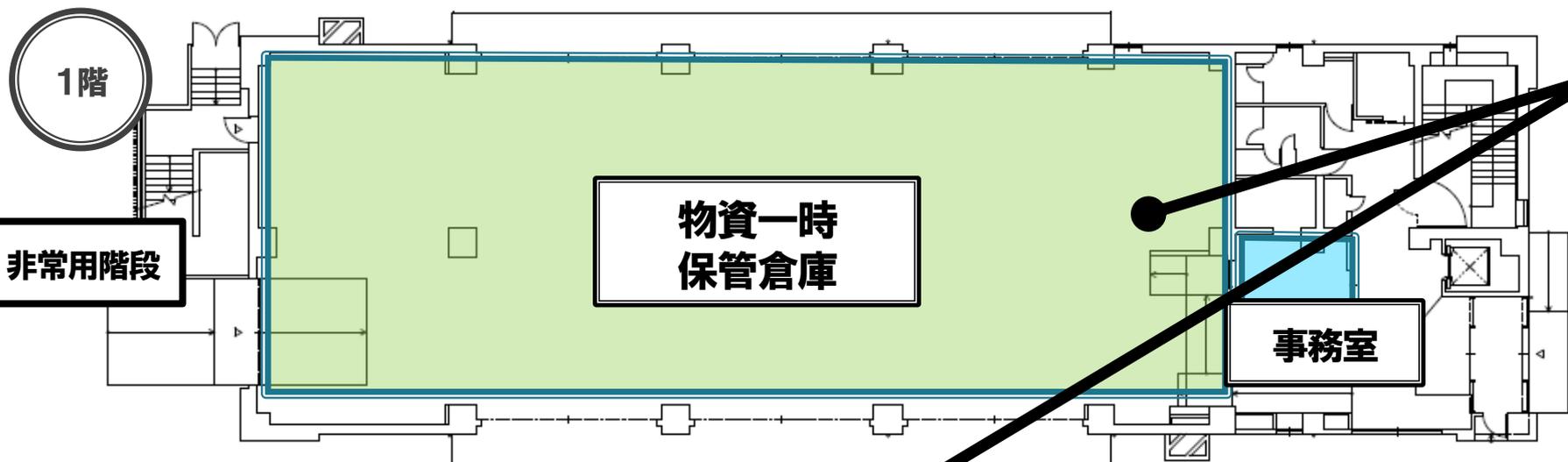
！ 避難所等機能

平成28年4月津波避難ビルに指定(1,080人収容)・指定避難所に指定(200人収容)

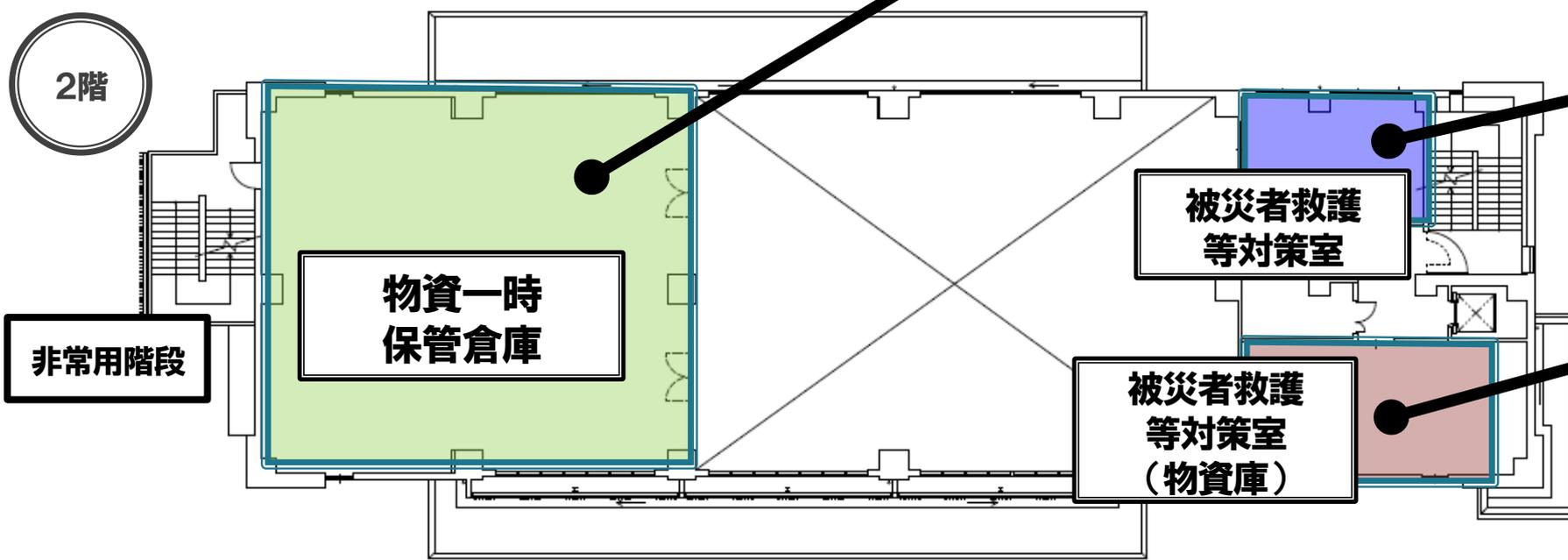
平常時における機能

防災学習・防災啓発施設及び地域のコミュニティ施設機能としての
津市雲出地区防災コミュニティセンターの設置

1階・2階の機能



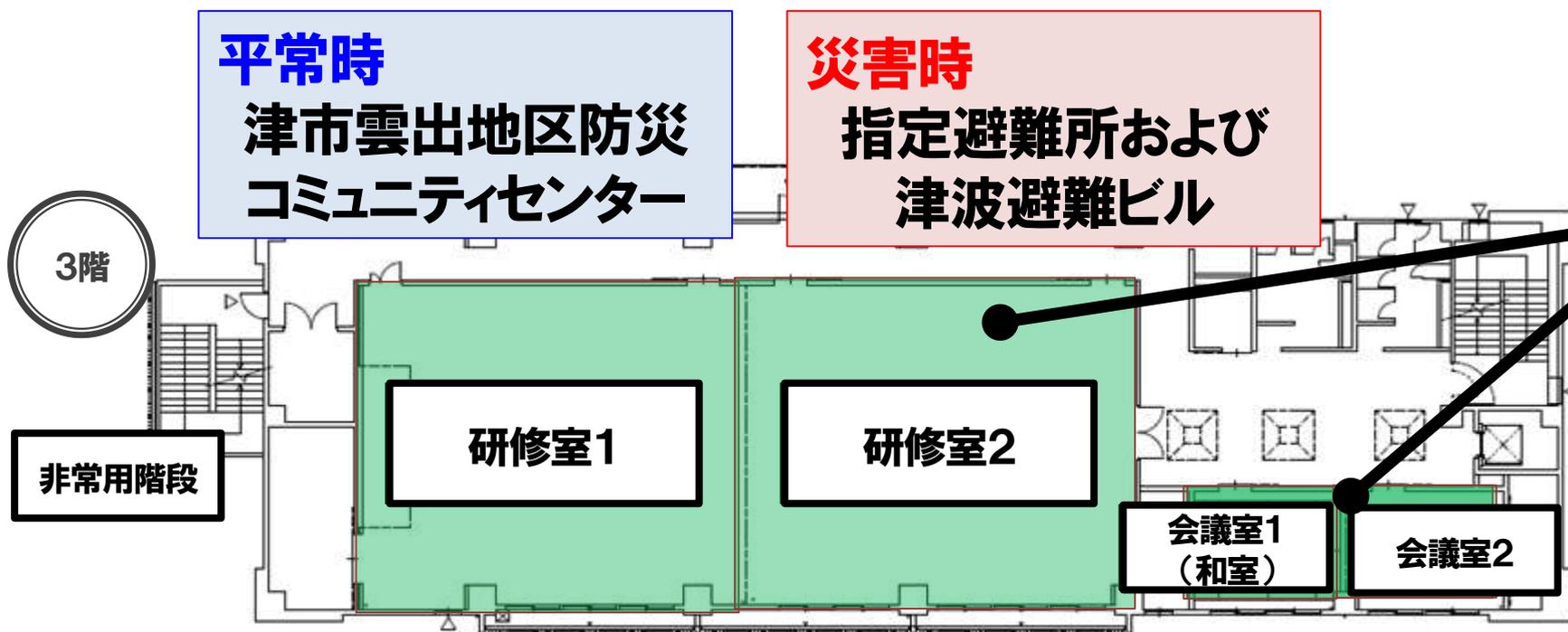
- 海上輸送や航空輸送等により届けられた緊急物資等を一時的に集約
- 荷捌きを行い、市内の各被災地域等への配送等を行う拠点として活用



- 迅速な被救護者の救出・搬送等に係る連絡調整等の拠点

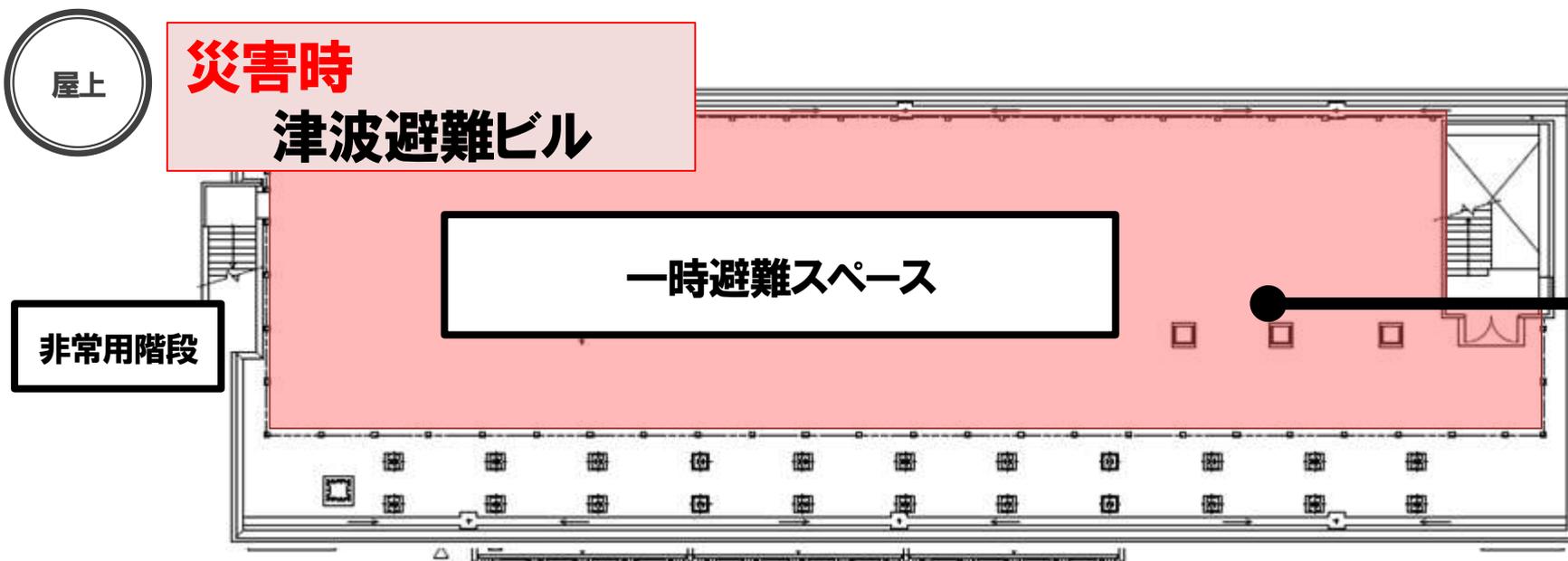
- 救護等に必要物資等を配置輸送するなど、空路等による被災者救護等の拠点

3階・屋上の機能



平常時
防災意識の普及・啓
発を図るとともに地域
住民の防災等に係る
活動の場として活用

災害時
災害時には、一時的な
津波避難場所又は指
定避難所として利用

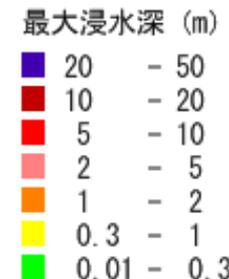
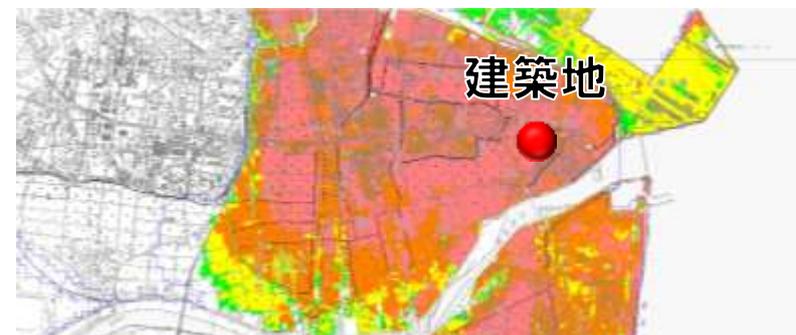


● 津波発生時における
一時的な避難場所と
して利用

津波避難ビルとしての活用

津波浸水想定

平成25年度 三重県想定(理論上最大)
最大浸水深 2m~5m (建築地 3.1m)

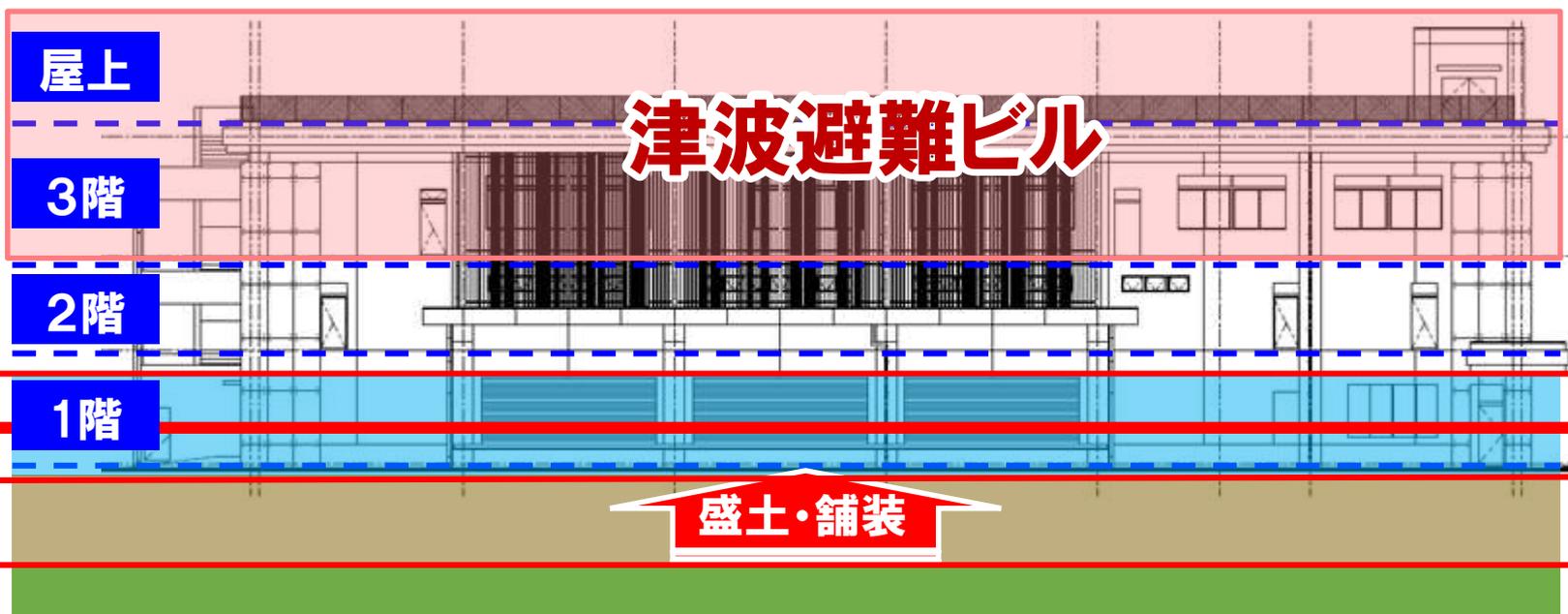


建築地における標高など

地面高 : 2.00m
(盛土・舗装 : 1.72m)
標高 : 0.28m

※造成前の敷地は田として
利用

- 盛土で嵩上げすることにより津波浸水対策
- 3階・屋上を津波避難ビルとして指定



最大浸水深 5.00m
3.10m

地面高 2.00m

標高 0.28m

雲出地区防災コミュニティセンターの概要

施設概要

使用時間	9時00分～21時30分 ※要予約
休館日	毎週月曜日、祝・休日 12月28日～1月4日



使用料

単位:円

	時間区分				面積・収容人数
	9:00～12:30	13:00～17:00	18:00～21:30	9:00～21:30	
研修室1	2,800	2,800	3,400	7,100	面積: 175.43㎡ 収容人数: 約100人
研修室2	2,800	2,800	3,400	7,100	面積: 174.73㎡ 収容人数: 約100人
会議室1	800	800	1,100	2,100	面積: 25.96㎡ 収容人数: 約18人
会議室2	800	800	1,100	2,100	面積: 27.45㎡ 収容人数: 約21人

※冷暖房時の使用料については、この表に定める使用料の10分の3の額を加算
※減額規定あり

落成式

日時

平成28年3月29日(火)10時30分～11時
※落成式の後、施設見学会を実施

場所

津市防災物流施設
(雲出伊倉津町792番地1)



～平成28年度復興支援に係る職員派遣～ 部長級経験者を初めて派遣 (再任用職員として)



平成28年3月23日

これまでの復興支援に係る職員派遣状況

東日本大震災に係る被災地への職員派遣状況

短期派遣 3カ月未満

派遣職種	派遣職員数
消防職 平成23年3月11日～21日	38名 救助活動に従事
技術職・技能員 平成23年3月17日～28日	10名 給水活動に従事
事務職 平成23年3月22日～8月1日	19名 事務応援に従事
保健師 平成23年4月2日～10月14日	3名 被災者健康支援

延べ487日 計70名

- ▶ 岩手県陸前高田市
- ▶ 福島県双葉郡浪江町
- ▶ 宮城県仙台市、松島市、
塩釜市、多賀城市
- ▶ 千葉県市原市、浦安市
- ▶ 新潟県三条市

中長期派遣 3カ月以上

派遣期間	派遣職員数	派遣職種
平成23年度	8名(各3～6カ月間)	事務職(担当主幹以下) 技術職(担当主幹以下)
平成24年度	8名(各3カ月間)	技術職(担当主幹以下)
平成25年度	2名(各6カ月間)	事務職(担当主幹・主事)
平成26年度	2名(各6カ月間)	事務職(担当副主幹)
平成27年度	1名(1年間)	事務職(担当副主幹)

延べ2,291日 計21名

- ▶ 福島県福島市(3名)、伊達郡国見町(1名)
- ▶ 宮城県亶理郡山元町(17名)

平成28年度 職員派遣の概要

派遣先

宮城県亶理郡山元町

派遣期間

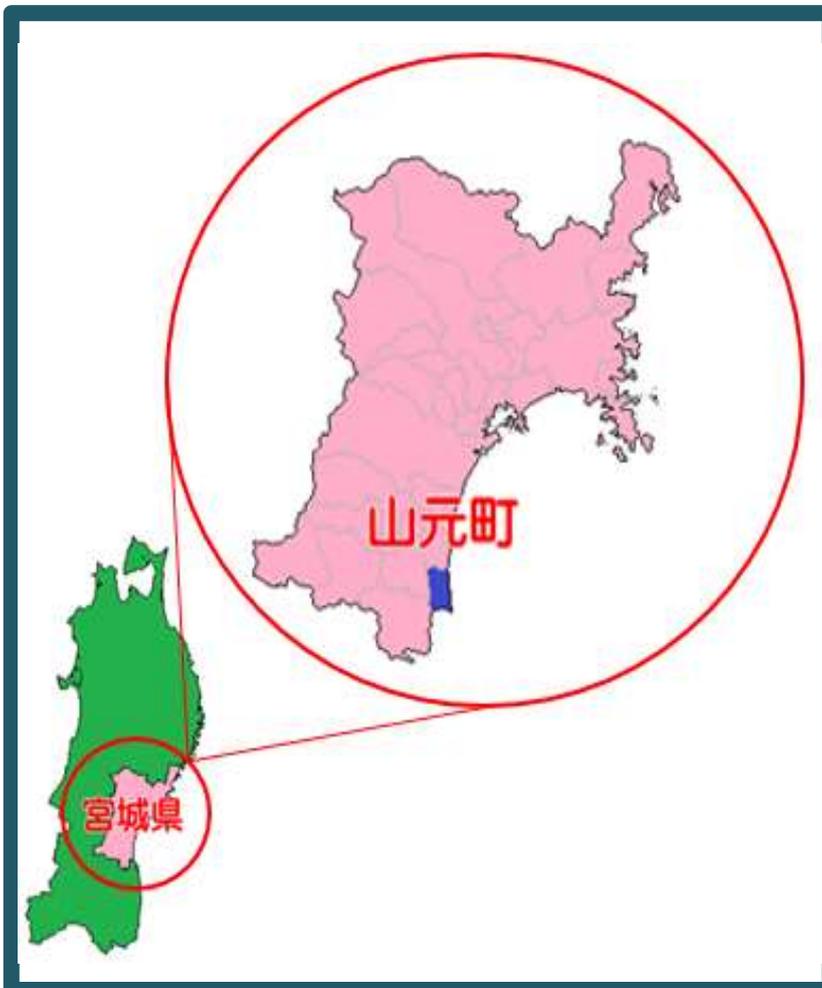
**平成28年4月1日から
最長3年間(予定)**

**派遣要望
職務内容**

**企業立地支援関連事務、
総務(給与事務等)、新市
街地商業集積事務ほか**

派遣職員

**部長級を経験した再任用職員を津市として
初めて派遣**



派遣職員の業務内容

これまで被災地に派遣した職員の従事業務

- 総務・福祉・税関係業務
- 一般被害家屋の調査・認定業務
- インフラの災害復旧工事業務
- 被災施設等の修繕業務等

被災者の生活支援やインフラ等の復旧支援業務に加え

企業立地支援、都市計画・開発指導、防災、人事管理といった分野でより一層の**支援が必要**

部長級経験者派遣のメリット

部長級職員としての
豊富な行政経験や知識
を生かした復興支援

退職後でも被災地の
復興支援に従事できる
環境を積極的に創出

部長級経験者派遣

意欲はあるが職位上
これまで派遣を断念して
いた職員への意識改革

若手・中堅職員への
復興支援業務の
意義の意識づけ

派遣職員の氏名・略歴など

氏名

かわはらだ
川原田 豊治

年齢(派遣時点)

60歳

略歴

昭和55年4月 入庁
平成18年4月 情報企画課長
平成21年4月 総務部情報企画担当参事(兼)情報企画課長
平成22年4月 政策財務部渉外担当参事(兼)東京事務所長
平成24年4月 政策財務部シティプロモーション・渉外担当参事(兼)東京事務所長
平成25年4月 商工観光部企業誘致担当参事(兼)工業振興担当参事・工業振興課長
平成26年4月 政策財務部担当理事
津市土地開発公社副理事長
平成28年3月 退職(予定)

激励会

日時 平成28年3月30日(水曜日) 15時00分～
場所 秘書課応接室(市本庁舎4階)